



毎年9月は全国防災月間です この時期に我が家の備えを点検しよう！

<被害を最小限にするための対策、注意点（自宅）>

- (1)不安定な家具や背の高い家具はネジなどで固定してある
- (2)枕元に足を守るスリッパや靴、懐中電灯などが置いてある
- (3)玄関、部屋の出入り口など避難経路を塞ぐところに家具を置いていない
- (4)窓ガラスには飛散防止フィルムが貼ってある
- (5)非常時にすぐに持ち出せる食品・生活用品などが入ったバッグを準備している
- (6)災害時の集合場所や連絡手段を家族間で共有している



●非常時に備える 3ステップ まずは、1次から。ついで0次・2次も

0次の備え

いつもケータイ！

非常持ち出し品の中から携帯できそうなものを選ぶ

1次の備え

非常持ち出し品

被災の1日目に避難する時に持っていきたいもの

2次の備え

安心ストック

飲食など消耗品は少なくとも3日間分は確保

●グッズを揃える心がけ、4つ

1年に2回は チェックしよう！

飲料・食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限をチェック

使い方を覚えよう、 身につけよう！

・ロープの結び方
・簡易トイレの使い方
・救急箱の中身 など

日用品の汎用性 工夫・知恵を知ろう！

日用的に使う新聞紙、ラップ、ビニール袋の様々な用途を知り、試してみよう

「自助」に加えて、 「共助」の備えも

自治会、防災会の共同の備えがどこに、どのようにあるかを確認

※神戸にある「人と防災未来センター（www.dri.ne.jp）」作成の資料から抜粋
詳細はホームページの「お役立ち」の項目をクリックし、「減災グッズチェックリスト」を参照。阪神・淡路大震災の被災経験者の声が反映されたものです

お知らせ！ 防災倉庫内備品の使い方訓練を行います



- ・日時 9月22日（日）一斉清掃後 9:30～10:30
- ・場所 各組の一時避難場所の防災倉庫前
- ・対象 班長、自治会加入家庭の皆さん(希望者)

我が家の防災

2024年9月15日 発行
前年度 地区委員 村松

地震対策の家造り

私は、家族4人暮らしです。寝ているときに、地震が発生してもすぐに避難できるように、寝室に物を置かない構造にしています。

- 家を造った際に、中二階に荷物を置く専用スペースを作り、収納できるようにしています

2階

収納部分

1階

寝室



寝室

布団

布団



天井高1.1mの収納専用スペースです

非常用備品



ストック備蓄品

収納専用スペースに保管



非常用持ち出し品

玄関近くに置き、すぐに持ち出せるようにしています